

総合科学の基礎C  
哲学思想の基礎

2018/06/29  
認識論と存在論

問6

45%

・幾何学における「前提」とは、具体的にどのようなものか。

- ① 同じものに等しいものは互いに等しい。
- ② 直角三角形の斜辺の2乗は残り2辺の2乗の和に等しい。
- ③ 一つの弧に対応する円周角は常に等しい。
- ④ ある正方形の2倍の面積の正方形は、対角線を一辺とするものである。

公理系

ユークリッドの公理

- ① 任意の一点から他の一点に対して直線を引くこと
- ② 有限の直線を連続的にまっすぐ延長すること
- ③ 任意の中心と半径で円を描くこと
- ④ すべての直角は互いに等しいこと
- ⑤ 直線が2直線と交わるとき、同じ側の内角の和が2直角より小さい場合、その2直線が限りなく延長されたとき、内角の和が2直角より小さい側で交わる。

定理: 公理を出発点とし、推論規則で到達できる命題

推論規則

- ① 同じものに等しいものはたがいに等しい
- ② 同じものに同じものを加えると、同じになる。
- ③ 同じものから同じものを引いた場合、同じになる。
- ④ 重なり合うものは等しい。
- ⑤ 全体は部分より大きい

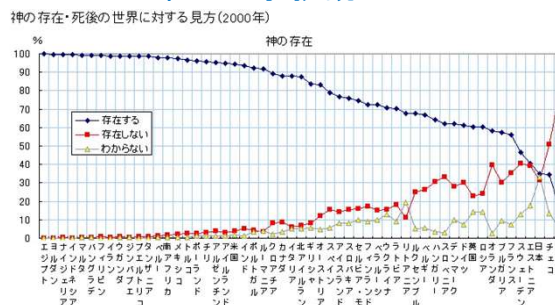
前回の要点

- ・ 神について
  - 西洋思想において、神とは、「世界が存在することの原因」である。
  - 「神が法則や論理や数学にもとづいて世界を創造した」という信仰のお陰で、(帰納法では普遍に至れないにもかかわらず)自然科学が成立した。
  - 残り: アリストテレスの「神」についての議論。

前回の要点

- ・ 存在論: ontology = beingの理論。
  - Being: 「存在existence」と「～であるcopula」の二つの意味がある。
  - プラトン: A is Bで表される、AもBもexistすると考えた。
    - ・ むしろ個物はexistしない(単なるappearance)。
    - ・ 「ソクラテスは人である」: ソクラテスは「人」という普遍(イデア)がこの世界に現れたもの。
  - アリストテレス: existするのは個物。言葉で示されるAやBはexistしない。
    - ・ 「ソクラテスは人である。/ わし鼻である」: ソクラテスという特定の人はexistする。「人」や「わし鼻」はexistしない。

日本人の宗教観について



・ 本川裕「社会実情データ図録」  
・ <http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/9520.html>